

大友 邦学長 式辞

国際医療福祉大学医学部の新入生の皆さん、そしてご家族の皆様、ご入学おめでとうございます。また、本日の開設記念式典に、国内外から多くのご来賓の方々にご臨席いただき、誠にありがとうございます。

Distinguished guests, on behalf of International University of Health and Welfare, I deeply appreciate your attendance to IUHW School of Medicine Opening and Entrance Ceremony. We will do our best to educate young and promising students from your countries.

本日ここに、ベトナム、ミャンマー、モンゴル、カンボジア、インドネシア、フィリピン、韓国、台湾、中国からの 20 名の留学生を含めた140名が、栄えある医学部の第 1 期生として集まっておられます。日本全国の医学部の国費留学生が、全学年を合わせても10 数名と極めて少ないなか、完成年次における本学の留学生数は 120 名となります。これほど多くの留学生を受け入れるのは、もちろん国内では本学が最初です。

留学生の方々は卒業後、それぞれ母国の医療を担うリーダーとして活躍することが期待されています。日本人学生の皆さんにとって、文化や社会的背景、医療事情などが異なる国から来られた方々と 6 年間一緒に学ぶことは、多様な価値観を受け入れる柔軟な国際感覚を自然に養うまたとない機会となるはずです。

さて本学の源流となっている高木病院は、大学創設者である高木邦格理事長の祖父である、高木吉彦先生から始まる 108 年の歴史を有し、「生命の尊厳、生命の平等」を理念としてまいりました。また 1995 年開学以来、本学は、初代学長の大谷藤朗先生が提唱された「『共に生きる社会』の実現」を建学の精神とし、医療福祉専門職の育成に尽力してまいりました。

本日開設した新しい医学部では、チーム医療・チームケアに貢献できる高い総合的診療能力と国際性を兼ね備えた医師の育成をめざします。まず、高い総合的診療能力を養うために、基礎と臨床を有機的に結合させた統合型カリキュラムを導入するとともに、5,000 m²を超える世界最大級の「医学教育シミュレーションセンター」を設置し、診療に必要とされるさまざまな技術・手技を納得するまで学ぶことができる環境を整えます。

また 4 年次より 90 週にわたる診療参加型の臨床実習を実施いたします。全国医学部長病院長会議現状調査の資料によると、国内の医学部の平均実習期間が 54 週、アメリカでも 72 週であり、本学のめざす教育が世界水準を上回っていることがお分かりになると思います。これらの長期にわたる臨床実習は、4つの附属病院を中心に、臨床医学研究センターという位置づけで、大学と密接に連携した運営がなされているグループ内の医療福祉施設で実施いたします。世界的なハブ病院をめざして 2020 年に開設する国際医療福祉大学成田病院を合わせた附属病院のベッド数は 2000 を超えます。また臨床医学研究センターには、山王病院、アジア有数の言語聴覚センターや介護老人保健施設が含まれ、総数は約 40 に上ります。

このように本学には、既存の医科大学と比べてもまったく遜色ない実習環境が整っており、高度先進医療だけではなく、高齢化社会で求められている医療にも対応する力を自然に養うことができます。

これらの臨床実習を含めたカリキュラムを着実に遂行していくため、本学では専任スタッフ 25 名を有する「医学教育統括センター」を設置しました。学生一人一人の授業の理解度、実習の達成度をきめ細かく把握し、適切かつ有効な指導を行ってまいります。

従来、国内の医学部における医学教育の専任教員数が 2~3 名に限られてきたことと比較して、きわめて手厚い布陣となっています。新入生の皆さん、学習や生活の面で困ったときには、遠慮することなく医学教育統括センターのスタッフにご相談ください。

さて、もう一つの重要な目標である国際性を身につけていただくために、授業やカンファランスで英語を活用してまいります。そのため、30 名以上の外国人教員と、海外での診療・教育経験豊富な 300 名以上の日本人教員が着任しております。

さらに、6 年次に 4 週間から 4 ヶ月の海外臨床実習を必修としました。本学は医療福祉の分野で、すでに約 20 の国・地域で 34 の大学・病院と協力関係を構築しております。海外臨床実習ではこれらの国際的なネットワークを通じて、さまざまな国での医療現場を在学中に体験することで、国際的な広い視野をもった医師を目指してください。

新入生の皆さん全員にご自身の選択が正しかったと心から思っていただけるよう、教職員一同心をひとつにしてベストを尽くしてまいります。ぜひ一緒に新たな歴史をつくってまいりましょう。